



報道関係各位

平成 24 年 3 月 29 日

ビール酒造組合



「STOP！ 未成年者飲酒」プロジェクトについて

ビール酒造組合(会長代表理事:相場康則)及び会員であるビール 5 社(サントリー酒類(株)・アサヒビール(株)・麒麟ビール(株)・サッポロビール(株)・オリオンビール(株))は、未成年者の飲酒防止を目的として平成 17 年より「STOP！ 未成年者飲酒」プロジェクトを展開してきましたが、本年も昨年 12 月に引き続き4月より春のキャンペーンを実施いたします。

本プロジェクトでは未成年者飲酒防止を呼びかけるメッセージを毎回作成し、全国9エリア(首都圏、中京地区、京阪神地区、四国地区、札幌市、仙台市、広島市、福岡市、那覇市)で発信しております。媒体につきましては2011年冬に新たに取り組みを開始した、屋外大型ビジョン・トレインチャンネル・インターネット広告にも引き続き出稿いたします。

また、日本フランチャイズチェーン協会、日本チェーンストア協会、日本ボランティア・チェーン協会、日本カラオケボックス協会連合会の協力を得て、各協会の加盟社における店頭、店舗内で未成年者飲酒防止の告知活動を展開してまいります。

毎回キャンペーン後に首都圏・関西圏で効果測定を実施していますが、昨年 12 月の調査では「STOP！ 未成年者飲酒」キャンペーンの認知度は約 85%となり、確実に成果を挙げております。

■展開メッセージ

「なぜ、未成年者の飲酒はいけないのか」を、主に未成年者の身体への影響の観点と、未成年者を取り巻く社会の観点からメッセージを作成し、展開します。(別紙参照)

■展開内容

<交通広告の実施>

全国 9エリア(首都圏、中京地区、京阪神地区、四国地区、札幌市、仙台市、広島市、福岡市、那覇市)の駅頭、車内において未成年者飲酒防止のメッセージ告知を行っていきます。

<ラジオ番組の利用>

沖縄ではラジオ放送を通じて訴求を行います。人気のあるパーソナリティーから、未成年者飲酒防止のメッセージを語っていただきます。

<インターネットの利用>

YAHOO、ISP ブロードにてクイズ形式の広告を展開してまいります。

<屋外大型ビジョンの利用>

渋谷 Q's EYE、新宿アルタ、トンボリステーション(大阪)にてアニメーションを出稿いたします。

<トレインチャンネルの利用>

JR 東日本、東京メトロ、東急 TOQ ビジョン、JR 西日本にてアニメーションを出稿いたします。

<コンビニエンスストア業界・スーパーマーケット業界の協力参加>

「STOP！ 未成年者飲酒」のシンボルマークをデザインした POP 類を利用し、告知活動に参加していただきます。

<主催> ビール酒造組合 <後援> 国税庁



《メッセージ》

『脳がNO！からだかNO！』

- ・ 10代でお酒飲むと どうなっちゃうんだろう……。検索したらおそろしくなった。
- ・ いくら無礼講OKのときでも、未成年者へお酒をすすめるのは 脳やカラダにすごく無礼ですよ。
- ・ たったひと言で、ひとは傷つく。お酒の場合、「飲めよ」で 10代の脳と内臓が傷つきます。
- ・ 「あの頃はよかった」が、「あの頃飲まなければよかった」になってしまう前に。

『社会がNO！ルールだからNO！』

- ・ 自主性を尊重する校風、すばらしい。でも、未成年者飲酒にまで「自主性」はゼツタイダメ！
- ・ 先輩、新入生には お酒じゃなくて お酒のこわさをおしえてください。
- ・ 「ごめんなさい。未成年なんです」いや謝るのは大人のほうだよね。「お酒をすすめて、ごめんなさい」
- ・ 居酒屋は、お酒と人のプロ。お酒との幸せな出会いのためにも 未成年者飲酒は許しません。

この件に関する問合せ先：

ビール酒造組合 広報担当

東京都中央区京橋 2-8-18 TEL 03(3561)8386 FAX03(3561)8380

ホームページ <http://www.brewers.or.jp>